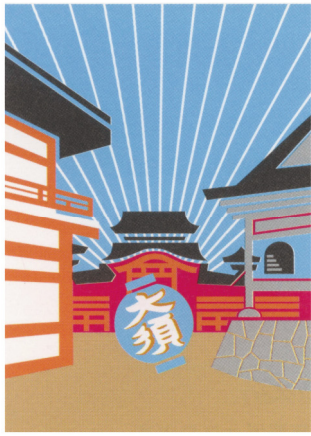




NAGOYA OSU
Rotary
Club



名古屋大須ロータリークラブ WEEKLY REPORT No.1691

＜本年度クラブ会長方針＞

変わる勇気と変える勇気を持ち、
和の心でロータリーの輪を広げよう！



承認 1985年2月12日 会長 飯田昭夫 事務局 名古屋市中区栄4-7-10 栄第8ロイヤルビル6F
例会日 木曜日 12時30分 幹事 木村吉伸 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
例会場 名古屋東急ホテル URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail office@nagoya-osu.org

第1970回例会

水と衛生月間

令和7年3月6日(木)

SPEAK OUT DAY

於名古屋東急ホテル

会員61名

出席計算数

55名中46名出席

出席率 83・64%

前々回出席率 100%

例会プログラム

★黒板アート活動報告

社会奉仕委員長 田崎 雅三

★米山奨学生挨拶・奨学金授与

★米山奨学生送別会

花束の贈呈・記念撮影

★SPEAK OUT DAY

ロータリーソング

「君が代」「四つのテスト」

指揮者 松本 哲朗

ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

米山奨学生 エンフバヤル・ホラン

ニコボックス

エンフバヤル・ホランさんの門出を祝して。

飯田 昭夫・堀江 英弥

横井 衛・横川 誠人

仲林 宏昌・内藤 啓喜

鷺津 光悦・河合 誠弥

西脇 良輔・西垣亜矢子

ホランさん2年間ありがとうございました。
木村 吉伸



ホランさん元気で頑張ってください。

岡部 快圓

ホランさん卒業おめでとうござい

ます。

鬼頭 茂成

ホラン、最後の例会皆さんとたく

さんお話しして楽しんで下さい。今

日はドンピシャ結婚記念日です。

近藤 明美

久しぶりに出てきました。元気が

です。結婚記念月です。

草野 勝彦

自慢話ですが、25才の孫、大雅が

霞ヶ浦カントリーでフラインググ

ルテンバーティの何とベストスコ

ア60で回ってきました。

吉田 隆彦

妻の誕生日です。

吉田 憲一

酒井 修

結婚記念月です。

尾上 昇

松本 哲朗・佐々木 功

会長挨拶

会長 飯田 昭夫

こんにちは。本日は、米山奨学

生エンフバヤル・ホランさんの米

山奨学生期間が3月31日で終了

するというところで、最後の例会出

席の日となりました。ホランさん

の日本語も過去を振り返りますと、

急激に上手になった時期があった

ように記憶しています。

これから日本での就職ですので、

新幹線でお会いできるかもしれま

せんが、我が名古屋大須ロータリ

ークラブのことを忘れないように

してください。また困ったことが

ありましたら我がクラブを頼って

いただけたらありがたいと思いま

す。今日は盛りだくさんのセレモ

ニーがありますので、これで会長

挨拶を終わります。

米山奨学生挨拶・奨学金授与

「ロータリーでの2年間を振り返って」

エンフバヤル・ホラン

皆さん、こんにちは。米山奨学生

のエンフバヤル・ホランです。本日

は私にとって最後の例会となり、

非常に寂しく思いますが、この場

をお借りして、皆さんに感謝の気

持ちをお伝えできることを嬉しく

思います。どうぞよろしくお願ひ



いたします。

私が日本

に来てから

すでに7年

の月日が流

れました。

最初に日本

に来た時、

正直なところ、不安や

孤独を感じ

ることが多くありました。それま

での生活は、モンゴルでの家族や

友人と過ごしていた日々から大き

く変わり、完全に異なる文化、言

語の中で新しいスタートを切らな

ければならない状況でした。日本

語も話せず、日本人と関わる機会

もほとんどなく、日々は学校、ア

ルバイト、家に帰るといふ単調な

繰り返しで、生活に彩りを感じる

ことが少なかったのです。

正直言うと、何度も帰国を考え

ました。モンゴルでの生活が懐か

しく、また日本語も上達せず、友達

もできず、自分を責める日々が続

きました。その結果、自己嫌悪に

陥り、日本にいる意味を見失って

いたこともありました。しかし、

そんな中で米山奨学生の一員とし

てロータリーの皆さんと出会い、

私は自分の考え、生き方、そして

日々の流れまで大きく変わること

ができました。

ロータリーでの活動を通じて、

私は新しい自分を見つけることができましたと思っています。最初は不安と緊張でいっぱいでしたが、皆さまの温かいご支援とサポートのおかげで、次第に心を開き、充実した時間を過ごすことができました。その温かい歓迎に支えられ、私は自信を取り戻すことができましたと思っています。

名古屋大須RCCをはじめ、さまざまなクラブの例会や夜間例会、あすなろクラブの活動、RYLEAセミナーなど、多くの場に参加し、日本文化や日本社会に関する知識を深めることができました。特に、日本人の皆さまの協力と理解を得ることができたのは、私にとって大きな励みとなり、異国の地での生活がどれほど価値あるものかを改めて感じました。

名古屋大須RCC、名古屋名駅RCC、名古屋東南RCC、名古屋東RCCなど、各クラブでの交流を通じて、さまざまなバックグラウンドを持つ方々と意見を交換し、多くの学びを得ることができました。



そこで出会った方々との深い友情は、私の心の中で永遠に輝き続けるものです。ロータリアンの皆さまが示してくださった、互いを思いやる温かいおもてなしや親切なサポートには、感謝してもきれません。

また、ロータリーの活動に参加する中で、「超私の奉仕」という理念が私にとって大きな意味を持ちました。この言葉は、ただの理想に過ぎないのではなく、実際に行動に移すことが大切だと学びました。自分を超えて、他者のために尽力する精神、そして社会に貢献することが、重要です。現在の社会にとっても大切であると強く感じています。私も今後、この精神を胸に、モンゴルと日本との架け橋となるべく努力していきたいと考えています。

ロータリーでの経験を通じて、私はただ多くの知識やスキルを学んだだけではありません。それ以上に、人と人とのつながりの大切さ、人間としての成長を実感することができました。日本という異国の地で多くの方々との出会い、その温かさに触れることで、私の中で「助け合い」の精神が根付いたように感じています。

今後、私の人生の中でこの経験は決して忘れることはありません。そして、私が学んだことを活かし、社会に貢献できる人間でありたい

と強く思っています。私たちのような留学生が、日本とモンゴルをつなぐ架け橋となることで、両国の交流がさらに深まることを願っております。そして、ロータリーの理念を実践し、地域社会にも貢献していきたいと心から思っています。

最後に、この2年間、私を支えてくださった名古屋大須ロータリークラブの皆さまに、心から感謝を申し上げます。皆さまの温かいサポートと友情があったからこそ、私は今日こころとして振り返ることができています。皆さまと過ごした時間は、私にとってかけがえのない宝物です。

本当にありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

■米山奨学生送別会 米山奨学生カウンセラー

近藤 明美

一年間、長いようで短かったと思います。ホランは日本での就職も決まり、この春からの入社に胸膨らませていると思います。これもさまざまな行事や他クラブとの交流に彼女が積極的に参加したおかげです。最後の例会となる本日は二年間を振り返ってお話をしてもらい、これからのますますの活躍を祝ってクラブから花束を贈り記念写真を撮影しました。

カウンセラーとしても良い経験をさせて頂きました。彼女を温かく見守ってくださった全ての方に感謝しております。ありがとうございました。

2023学年度・2024学年度

米山奨学生(2年)

エンバヤル・ホランさん

(星城大学経営学部卒業)

国籍：モンゴル

米山奨学生期間：

2023年4月1日～

2025年3月31日



「社会奉仕委員会事業 「黒板アート」活動報告

社会奉仕委員長 田崎 雅二

本事業は20・21年度から実施され今年で4回目を迎えます。制作は愛知県立芸術大学油画専攻3年生4名が担当し、12月27日(金)名古屋市中立富士中学校の黒板3面とホワイトボード1面に、丸一日をかけて描いてくれました。



生徒へのお披露目は年明け最初の授業日となる1月6日(月)、身近な存在である黒板が素晴らしいアート作品に变身することを体験し、感動したの芸術への関心を高めることで、子供たちの心の醸成に良いきっかけを与えることができました。芸術を通じて地域社会に貢献することができました。以上ご報告いたします。



3月20日(木) 例会の案内
法定休日
3月27日(木) 例会の案内
クラブフォーラム
4月3日(木) 例会の案内
SPEAK OUT DAY・大須なつおトコンテスト表彰式・名古屋大須案内人RCC支援金贈呈

公共イメージ向上委員会

横川 誠人

深谷 昭広・小笠原和俊

小澤 幸男・黒岩 麗子

*本文は、原則 頂いた
原稿を転載しています。